

図画工作科

単元名 「へんしん ねんど」
指導時数 2 時間扱い

- ねらい
- ・粘土を伸ばす、丸める、並べる、積むなど手や体全体を働かせてつくる。
 - ・積み上げた粘土から頭・手・足などを引き出して自分の想像する怪獣をつくる。

幼稚園・保育所で経験してきたこと





- ・粘土遊びは、幼稚園や保育所でも経験してきている。好きなものをつくったり、型押しをしたり、課題に合わせてつくったりして、親しんでいる素材である。

接続を踏まえた指導の工夫

- ・粘土遊びの基本的な技能（伸ばす、丸める、付ける、引き出す）を遊びながら、自然に身に付けることができるようにした。周りの友達と比べ合ったり、見せ合ったりすることで友達とのかかわりが自然に生まれていくようにした。

学習活動例

図工【10日目以降】

時間	コマ	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連
2/2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・道具や材料を用意する。 <p>1 のばそう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい粘土を全身の力を使って押したり、こねたりしながら伸ばす。 ・近くの友達と長さ比べをする。  <p>2 丸めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い粘土をちぎって、丸めて、おいしそうなお団子をたくさんつくる。 ・きれいな丸でおいしそうなお団子、数、並べ方の良さなどを近くの友達と比べる。 	<p>○道具や材料の置き方や記名の確認など、学習前の準備を指導する。</p> <p>○「長く伸ばす競争をすること」を伝え、終わりの時刻を時計の針の位置で知らせておく。</p> <p>○力を入れるには、立って、体重を乗せながら伸ばす方がよいことに気付かせる。</p> <p>☆グループの友達や近くの友達と長さ比べをしたり、自分の背と比べたりさせる。(算数との関連)</p> <p>★これまでに団子などを作った経験を想起させ、どのようにするときれいに丸められるか意見を出させる。</p> <p>○終わりの時刻を伝える。</p> <p>○丸め方がうまくできない児童には個別指導する。きれいさやたくさんつくっていること、並べ方の工夫をほめる。</p> <p>☆丸の形や数を友だちと比べる。(自分たちでできる比べ方でよい。数を数えることを強制しない。)(算数との関連)</p>
	2	<p>3 積み上げよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸めた粘土をできるだけ高く、倒れないように積み上げよう。 ・近くの友達と高さ比べをする。  <p>4 かいじゅうをつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積み上げた粘土を押して塊にした後、頭、手、足、耳、角、しっぽなどつまんだり、引っ張り出したりして、自由に怪獣をつくる。 	<p>○終わりの時間を伝える。</p> <p>○崩れてしまう児童には、高く積み上げている児童の工夫を見付けさせる。</p> <p>☆積み上げた高さを比べさせる。自分たちで、できる比べ方をさせる。</p> <p>○つまみ出しや引っ張り出しの方法を指導する。(幼稚園や保育所では、付け足しながらつくることが多く、引っ張り出しの技法はあまり経験がない。)</p> <p>○できた怪獣を鑑賞し合う。</p>